

## 2025年度事業報告書

自 2025年4月 1日

至 2026年3月31日

### 1. 会議に関する事項

#### (1) 通常総会の開催

令和7年5月14日（水）にナレッジキャピタル・カンファレンス大阪にて第14回通常総会を開催し、下記全議案について議決した。

（議案）

- 第1号議案 2024年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2024年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 2024年度監査報告の件
- 第4号議案 2025年度事業計画承認の件
- 第5号議案 2025年度収支予算案承認の件
- 第6号議案 その他の件

#### (2) 理事会の開催

回数	開催年月日及び場所	出席者数	議案	議決の結果
①	R07年5月14日 ナレッジキャピタル・カンファレンス大阪	8人	1) 2024年度決算報告書の承認 2) 2025年度予算案の承認	可決 可決
②	R07年9月30日 オンライン	8人	1) ㈱バイブランツ・ジャパンの賛助会員入会の承認	可決
③	R08年3月17日 TKP名古屋ルーセントタワー16F B室	7人	1) 2025年度事業概況報告について 2) 2025年度収支決算見込みについて 3) 2026年度事業計画案について 4) 2026年度収支予算案について 5) 役員改選と選任について 6) 2026年度通常総会開催の日時及び開催場所について 7) 総会までの間の経費暫定支出について 8) 工業会の課題について（3件） 9) ㈱三田村商店の賛助会員入会の承認	可決 可決 可決 可決 検討 可決 可決 可決 可決

## 2. 事業の実施状況

### (1) 工業会の運営に関する件

#### i) 会員の退会・入会

退会 無し

入会 2社 (株)バイブランツ・ジャパン、(株)三田村商店) 賛助会員入会

現会員数 正会員 11社 賛助会員 8社 計 19社

#### ii) 電話番号の変更

IP電話リース契約停止し、固定電話番号の変更と携帯電話の契約(8月～)。

新番号 03-6806-5689、 携帯電話番号 070-3206-9207

#### iii) 銀行口座の統合

会費入金用当座預金口座、三井住友、みずほ、りそなの3行を三井住友銀行(当座)1行に統合した(7月～)。

#### iv) ノートパソコン更新

テレワークで使用中のノートパソコンについて windows 対応のため更新した(相見積によりスターティア(株)に決定)。

### (2) 技術・技能の向上に関する事項

#### i) 技術委員会の活動

日程	実施内容
2025年6月10日 技術委員会(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン(WEB)で開催(出席者 8名)</li> <li>①2025年度第9回技能検定試験実施について課題説明。Wプレートの準備、技能教育ガイドブック(2025年版)の準備、開催スケジュールの確認。</li> <li>②2025年度第6回技能教育通信講座実施スケジュールについて説明。</li> <li>④ その他(ヒートショック試験の進捗と情報共有)</li> </ul>
2026年2月13日 技術委員会(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場: TOMATEC(株)小牧工場会議室(ハイブリッド会議 出席者 21名)</li> <li>①ほうろうフライパン用釉薬と表面処理について、釉薬メーカー、加工メーカーの報告があり、今後の課題と進め方が討議された。</li> <li>②試作用釉薬の供給と試作品作成並びに評価方法について検討することになった。</li> <li>③技能検定試験、通信講座、国際ほうろう会議、50周年記念の報告があった。</li> </ul>

#### ii) ほうろう技能検定に関する活動(技術委員会)

第6回通信講座を2025年8月~12月に実施。ほうろう技能検定試験は、学科試験をオンライン方式で2026年1月24日に実施し、実技試験は、2月14日に実施をし

た。活動内容は下記の通り。

時 期	活 動 内 容
2025 年 8 月 ~2025 年 12 月	・第6回通信講座開催（4事業所、10名 内1級2名、2級8名が受講）し、第1回配布8月、第2回配布9月、第3回配布10月、第4回配布11月と4回を受講、12月に修了証と通信講座のまとめ受講者全員に送付した。
2025 年 6 月	・タカラスタンダード(株)への実技試験試験材 W プレート新規製作発注と製品の納入(120枚) ・技能検定及び通信講座のテキストになる「技能教育ガイドブック 2019 年版」の在庫不足によるガイドブックの増刷。一部の記述を更新して 2025 年版として 6 月に 50 冊作成。
2025 年 10 月 ~11 月	・10月中旬に 2025 年度（第9回）技能検定試験開催案内を発送し、 <u>受験者募集（受験申込者 11 名（1 級 1 名、2 級 10 名）</u> ・受験者への受験書類並びに事業所毎の受験準備の手順書を送付。
2025 年 12 月	野田瑠瑠(株)様に依頼していた実技試験試験材印ろう蓋の仕様について、従来の 18cm 径から 20cm 径に変更要望があり、了承。受験者に試験材の仕様変更を通知した。
2026 年 1 月	・学科試験、受験 5 会場の予備確認をオンラインで実施（1/15 日）。 ・学科試験 1/24 日（土）実施（各会場をオンラインで結び、 <u>受験者 8 名（1 級 1 名、2 級 7 名）</u> が受講し、問題なく終了した。
2026 年 2 月	・学科試験採点、評価まとめ ・実技試験 2 月 14 日（土）TOMATEC(株)小牧工場で開催。 受験者 5 名（1 級 0 名、2 級 5 名が受験）
2026 年 3 月	技能検定試験成績書、合格認定証、合格記念品の準備と報告書作成 <u>合格者 7 名（内訳：2 級（5 名）、学科 2 級等級（2 名）</u> 報告書⇒添付資料① 参照

iii) 日本セラミックス協会瑠瑠部会に関する活動

1) 技術講演会の開催

ほうろう技術講演会は、2025 年 11 月 7 日（金）にウイックあいち会場（名古屋）にて対面及びリモートのハイブリッド形式で開催され、34 名が参加した。講演会後に同じ会場で懇親会が開催された。

講演項目は次の通り。

	講演会演題	講演者
①	無機粉体の水系スラリーの分散凝集制御	元京都工芸繊維大学 塩見 治久氏
②	表面機能硝子へのアプローチ	愛媛大学 武部 博亨氏
③	水炎法によるガラス粉末の合成	タカラスタンダード(株) 水谷 和揮氏

2) 日本セラミックス協会珪瑯部会幹事会の開催

2025年度の幹事会・総会は、下記の通り3回開催された。

①	年月日	2025年6月6日(金)
	場 所	名鉄プレミアホール会議室 304
	議 題	(1)2024年度事業報告、決算報告 (2)2025年度予算・事業計画 (2025年度技術講演会)の打ち合わせ (3)ISO規格関係説明 (4)国立科学博物館データベース用資料の件
②	年月日	2025年8月22日(月)
	場 所	WEB会議
	議 題	(1)技術講演会(テーマ、日程、場所等)に関する打ち合わせ (2)ISO/TC107総会(中国武漢)の説明 (3)国際ほうろう会議 (パリ)2026年6月開催の案内 (4)国立科学博物館データベース 提出状況
③	年月日	2025年9月30日(火)
	場 所	WEB会議
	議 題	(1)技術講演会(講演内容、スケジュール、参加申込、懇親会等) に関する打ち合わせ (2)ISO/TC107総会(武漢)の報告 (3)ISO規格のNP提案の報告

v) ISO/TC107規格国内委員会の活動

①	第37回ISO/TC107総会(2025年)は、中国、武漢で10/20日~24日に実施された。ほうろう関係は、10/23日にWG2委員会が開催され事務局野間がオンラインで参加した。
②	第38回ISO/TC107総会(2026年)は、デンマーク、コペンハーゲン開催の予定。また、第39回総会(2027年)はロンドン開催が検討されている。
③	ISO規格の投票について国内検討を実施し、8件の投票実施、1件について検討中。⇒添付資料② 参照
④	ISO/TC107/WG2国内委員でISO規格投票者であったTOMATEC(株)城野様が退職のため退任し、TOMATEC(株)岩田様に担当して頂くことになり2月に交代の登録申請した。

(3) 環境対策

ほう素ふっ素の暫定排水基準に対するフォローアップの活動を次の通り実施した。

活 動 経 緯	
①	ほう素ふっ素暫定排水基準フォローアップ調査票(業界団体、個別事業者) 調査票提出 令和7年11月21日(電子メール書類)
②	令和7年度 第2回排水処理技術検討会開催 年月日 令和8年1月16日(金)10:00

	場 所 WEB 会議（teams 会議で実施された） 議 題 ①令和 6 年 7 月以降の各事業所の対応について *2 事業者並びに事務局がヒアリングに出席した。						
③	検討会での委員指摘事項についての対応 ・委員指摘事項（1）について、「キレート系ほう素吸着剤の検討」について、対応内容を回答。（2/16 日メール対応）。						
④	令和 7 年 7 月～令和 10 年 6 月の暫定排水基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">ほう素</td> <td style="text-align: center;">ふっ素</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ほうろう鉄器製造業</td> <td style="text-align: center;">30ppm</td> <td style="text-align: center;">10ppm</td> </tr> </table>		ほう素	ふっ素	ほうろう鉄器製造業	30ppm	10ppm
	ほう素	ふっ素					
ほうろう鉄器製造業	30ppm	10ppm					

(4) 安全対策事業

i) 下記の通り器物部会を開催した。

①	令和 7 年 5 月 14 日（水） 対面会議（出席 6 名） 開催場所 ナレッジキャピタル・カンファレンス大阪
	討議事項 1) ネット販売向け工業会ロゴマークについて 2) ネット販売（中国製）の品質表示法不適正表示への警告文について 3) ほうろうフライパンのヒートショック試験について
②	令和 7 年 6 月 13 日（金） 対面会議（出席 6 名） 開催場所 珪瑯工業会事務所
	検討事項 1) 富士ホーロー(株)提案ネット販売向けロゴマークについて 2) マーク出荷枚数未処理の件とマーク発注方式について 3) 令和 7 年度認定試験用サンプル送付依頼について
③	令和 7 年 8 月 7 日（木） 対面会議（出席 6 名） 開催場所 珪瑯工業会事務所
	検討事項 1) 「日本珪瑯工業会認定」のルール（定義）について 2) ライズクリエーションへの対応について 3) IH 認定試験用サンプル送付、技能教育ガイドブック 2025 年版製本、国際ほうろう会議協賛について

ii) 2025 年度 IH 認定マーク承認検査試験実施

日用金属製品検査センター、瀬戸窯業技術センターに試験を委託。

3 社（野田珪瑯(株)、富士珪瑯工業(株)、阪和ホーロー(株)）と認定マークの契約書を締結した。

iii) 軽金属製品協会からの協力依頼

軽金属製品協会の日用品部会が検討している JIS S2010（アルミ家庭器具）

改正について、セラミックス塗装の項目を規格化出来るかについて協力依頼

があり、日用品部会にオブザーバー参加している。

(5) 消費者対策

消費者、消費者センターからの相談、事業者からの相談、メーカー紹介等の問い合わせに対応した。令和6年4月~令和7年3月までに19件の問い合わせを受け対応した。(添付資料③ 参照)

(6) 情報サービス

i) ホームページに関する活動

お知らせ欄、工業会ページの更新及びHPからの問い合わせに対応した。直近のアクセス数：1500件/月

ii) ほうろう鉄器出荷統計、鋳物ほうろう浴槽出荷統計のまとめと関係先への配布。  
並びにほうろう部品に関する燃焼機器出荷統計のまとめを関係先に配布。

iii) HPでの50周年記念ページ作成の準備

- ・ 珪瑯工業会50年の履歴を編集 (添付資料④ 参照)
- ・ HPの50周年記念ページ更新費の見積

(7) 関連業界との交流

・ 関連業界(日用品工業団体協議会、全国中小企業団体中央会、東京金物卸商組合)との交流。金物卸商賀詞交歓会は令和8年1月7日に開催された。キッチンメーカー、浴槽メーカー等で組織されるキッチン・バス工業会の新行事(くらしの絵日記コンクール)は令和7年11月4日に第1回の表彰式が開催され、日本珪瑯工業会賞を当日授与した。

・ 長年加入していた全国中小企業団体中央会を退会することが理事会で決定したため、令和8年3月31日付で退会を申込、受領された。

(8) 中小企業庁【中小企業経営強化法】証明書発行業務に関して

中小企業経営強化税制の拡充による器具備品の品目が追加され、工業会がその認定業務(証明書発行)の委託を受け中小企業庁に報告。

2025年4月~2026年3月まで申請件数 0件

以上